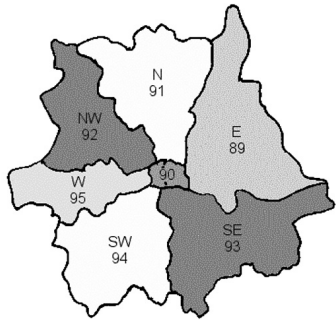


## パレットの上の絵の具

千葉大学社会精神保健教育研究センター 特任講師

小堀 修 (こほり おさむ)



図の模様を見てください。何が  
見えてくるでしょうか。昆虫の集  
合でしょうか、それとも、人々の  
横顔でしょうか？ 実は、ロンド  
ンの地図なのです。地図以外に、  
何か他のかたちに見えないか、も  
ういちど、目を凝らしてみてください。  
中央には、Cityと呼ばれる  
地域があり、いくつかの地域が周  
りを囲んでいます。もう地図にし  
か見えないでしょうか。それでは、  
次の段落を読んでみてください。

ロンドンには、民族、文化、言語、  
様々な側面に多様性をもつ街で  
す。西(W)には南アジア人の集  
まる地域、南西(SW)にはオー  
ストラリア人や韓国人の集まる地  
域、南東(SE)にはカリビヤ人  
の集まる地域があり、東(E)に  
はコックニー(英語版江戸弁)を  
話す人たちもいます。各地には世  
界的なサッカーチームもあります。  
北(N)にはアーセナルとト  
ッテナム、東にはウェストハム、  
南西にはテムズ川の北にチェルシ  
ー、南にフルハムがあります。

ロンドンでは、世界中のレストラン  
があります。しかしロンドン  
で食べると、その国の味付けとは  
少し異なります。日本食であれば、

やや味付けが濃くなりますし、ほ  
とんどの日本食レストランの運営  
者は韓国人や中国人です。つまり、  
各国の料理は、イギリス風に味付  
けされている(adjusted for English  
palate)といえます。

もういちど図を見てください。  
この図が30cmくらいの薄い板  
で、中央に穴が開いていたら、何  
をしなくなるでしょうか。おそらく、  
パレットとして、絵を描くた  
めに使うでしょう。ロンドンは、  
絵の具のパレットのように、各地  
域に色合いがあるものの、それら  
は混じり合って、新たな色彩を生  
み出しています。民族、文化、言  
語、そして心理療法が住み分けて  
いるのではなく、互いに棲み分け  
ることで、ロンドンというひとつ  
の絵画を構成しています。

私は2006年から3年半、キン  
グスカレッジロンドン精神医学研  
究所に、ポスドク研究員として滞  
在しました。「不安障害における  
再保証を求める行動」というテー  
マで、認知行動病理学を研究する  
かたわら、認知行動療法の訓練や  
スーパービジョンの方法論につい  
ても学びました。

この精神医学研究所は、テムズ  
川の南に位置し、心理学部は認知  
行動療法のメッカです。一方、テ  
ムズの北には、精神分析の総本山  
であるタピストックセンターがあ  
ります。どちらもヨーロッパ最大  
の臨床・研究・教育機関であると  
同時に、フロイト、アイゼンクと  
いった外国人の影響を強くうけて  
設立された建物です。ロンドンの  
ように、精神分析と認知行動療法



### Profile — 小堀 修

2006年、東京大学大学院総合文化研  
究科博士課程修了。2006～2010年、  
ロンドン大学精神医学研究所 PD 研究  
員。同年4月より現職。専門は認知行  
動療法、パーソナリティ心理学。主な  
著書は『こころの科学セレクション  
適応障害』(共著、日本評論社)、『事  
例に学ぶ研究倫理』(共著、ナカニシ  
ヤ出版)など。

の大きな勢力が共存する街は他に  
ないでしょう。

英国の応用心理学の資格も、領  
域に応じて分化しています。臨床  
心理士は、博士号を持ち、主に医  
療現場で働く、認知行動療法の専  
門家です。カウンセリング心理士  
も博士号を持ちますが、日本の臨  
床心理士と同じく、様々な領域で  
働いています。その他にも、教育  
心理士、司法心理士、健康心理士、  
神経心理士、産業心理士、運動心  
理士という国家資格があります。

英国は、歴史的な反省をふまえ  
て、様々な人々や民族を排除せず  
含み込み棲み分けていく社会シス  
テムが作られてきました。この社  
会システムを礎に、メンタルヘル  
スのシステムも機能しており、専  
門職が連携しあう営みがありま  
す。ひとりの心理士が「あれもこ  
れも」やろうとするのではなく、  
自分の専門性を高めて、異質性を  
保ちながらも他職種と連携しなが  
ら、包括的なサービスを提供して  
いるようです。